

**日本アメリカ史学会第5回（通算33回）年次大会プログラム**

9 月 20 日 (土)	11時30分～	幹事会 5階1505教室
	12時30分～	受付開始 1階エントランスホール
	13時30分～	大シンポジウム 「世界史教育のなかのアメリカ史」 2階フェニックスホール  <b>報告：</b> 岡本智周（筑波大学） 「歴史教育の社会化機能について—日米の歴史教科書に通底するもの—」 鳥越泰彦（麻布高等学校） 「アメリカの世界史教育・歴史教育—日本の世界史教育・歴史教育との比較から—」 油井大三郎（東京女子大学） 「アメリカ史の研究と教育—高校と大学をどう架橋するか—」  <b>コメント：</b> 貴堂嘉之（一橋大学） <b>司会：</b> 中野博文（北九州市立大学）
	17時～ 18時30分	総会 2階フェニックスホール
	18時30分～ 20時	懇親会 5階東学食堂
9 月 21 日 (日)	9時30分～	自由論題 3階 1301・1302・1303教室
	（3階1301教室）	9時30分～10時10分 奥広啓太（東京大学大学院博士課程） 「国家非常時における大統領・議会関係—第77議会第1会期（1941年）を中心に—」 10時15分～10時55分 藤原郁郎（大阪大学外国語学部） 「中東大規模油田の発見とアメリカ外交政策—オスマン帝国の解体から戦後レジームの形成まで—」 11時～11時40分 阿部博子（東北大学大学院博士後期課程） 「喪の共同体—ベトナム・ベテランズ・メモリアルをめぐる記憶のポリテクス—」 11時45分～12時25分 西住祐亮（中央大学大学院博士後期課程） 「米国現実主義者の再検討—コンゾヴォ紛争を事例に—」  <b>司会：</b> 平田雅己（名古屋市立大学）
	（3階1302教室）	9時30分～10時10分 笠井俊和（名古屋大学博士課程） 「17世紀末北米植民地の船乗りと西インド貿易—大西洋史の視点から—」 10時15分～10時55分 福田敬子（青山学院大学） 「19世紀の奴隷制廃止運動と健康改革運動—アフリカ系アポリシヨニストDavid Rugglesのエートピア—」 11時～11時40分 三浦順子（北海道大学大学院博士後期課程） 「アメリカで『メキシカン』として生きるという試み—テキサスにおけるメキシコ系アメリカ人およびメキシコ人移民の組織活動、1910-1929年—」 11時45分～12時25分 吉岡宏祐（東北大学博士後期課程） 「現代アメリカ合衆国におけるアフターマティフ・アクション廃止論争—高等教育機関の事例を中心にして—」  <b>司会：</b> 後藤雄介（早稲田大学）
	（3階1303教室）	9時30分～10時10分 那須（白石）千鶴（淑徳大学） 「19世紀アメリカ合衆国の動物観構築再考—家庭動物愛護の奨励から野生動物絶滅擁護まで—」 10時15分～10時55分 後藤千織（一橋大学博士後期課程） 「家族を統制する法体系の社会化と福祉活動—20世紀初頭のカリフォルニア州サンディエゴ郡の事例を中心—」 11時～11時40分 藤本茂生（帝塚山大学） 「20世紀初めにおける米国ボーイスカウト運動と大阪の『少年団』組織」  <b>司会：</b> 平体由美（札幌学院大学）
14時～17時	シンポジウムA 「19世紀前半の西半球世界観」 3階1301教室  <b>報告：</b> 浜 忠雄（北海学園大学） 「ハイチ革命と『西半球秩序』」 肥後本芳男（同志社大学） 「3つの革命とジェファソンの『自由の帝国』」 八嶋由香利（慶應義塾大学） 「J・グエイとその時代—スペイン植民地再編とキューバ、カタルーニャ」  <b>コメント：</b> 伏見岳志（慶應義塾大学） <b>司会：</b> 中島啓雄（大阪大学）	
14時～17時	シンポジウムB 「南北アメリカにおける移民コミュニティ生成」 3階1302教室  <b>報告：</b> 北村曉夫（日本女子大学） 「戦間期における亡命イタリア人の国際的ネットワークと移民コミュニティ」 柴田佳子（神戸大学） 「チャイニーズになる、チャイニーズである—ジャマイカの民族墓地をめぐる境界の諸相—」 米山裕（立命館大学） 「ロサンゼルス日本人移民社会と交通—移民コミュニティ形成・維持の基盤として交通を考える—」  <b>コメント：</b> 中野耕太郎（大阪大学） <b>司会：</b> 南川文里（神戸市外国語大学）	